

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	温泉エネルギー活用加速化事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	地球温暖化対策課 自然環境整備担当参事官室		調整官 和田篤也 参事官 坂本文雄	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第8号		関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	温泉の熱や温泉の採取に伴い発生するガス(温泉付随ガス)を活用した温暖化対策は、二酸化炭素削減量が大きく、非常に有効な手段であるが、事業者の中には初期投資費用の調達が困難な場合も多く、また、こうした対策が十分認知されていない状況にある。このため、温泉発電、温泉熱・温泉付随ガス利用事業の初期コストの低減による自立的普及及び地域特性に応じた再生可能エネルギー利用の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	温室効果ガスの排出削減のため、温泉施設において民間事業者が行う以下の事業に要する費用について補助金を交付するものである。 ①温泉発電設備(固定価格買取制度に基づく売電をしないものに限る)の設置(補助率1/2) ②ヒートポンプによる温泉熱の熱利用事業(補助率1/3) ③温泉付随ガスの熱利用事業(補助率1/2) ④温泉付随ガスのコージェネレーション事業(補助率1/2)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	50	450	370	420
		補正予算	184	-	-	-	-
		繰越し等	△37	22	15	-	-
		計	184	72	465	370	420
	執行額	122	30	69	-	-	
執行率(%)	83%	42%	15%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 ( )
	補助事業によるCO2削減量	成果実績	t-CO2	-	1,663	4,301	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助事業実施件数	活動実績	件	11	3	7	-
		(当初見込み)		-	(4)	(16)	(14)
単位当たり コスト	3,422 (円/t-CO2)		算出根拠	事業執行額(平成21~23年度 220,802,000円)÷CO2削減量(平成23年度 4,301t-CO2)÷耐用年数(15年)			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業 費等補助金	370	370	地熱エネルギーの有効利用は極めて重要であるため、本事業に委託事業を新たに 設け温泉エネルギー等の利活用を促進させていくため。			
	二酸化炭素排出抑制対策事業 等委託費		50				
計	370	420					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	温泉発電設備補助については、全国の温泉事業者等から広く関心が寄せられているが、新しい技術であることに加え、設備等の要件や資格者の選任など関係法令に基づく準備に時間を要することから、H23年度は応募はあったものの採択には至らず、結果として不用率が大きくなった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・補助率を1/2又は1/3としており、受益者にも相応の負担を求めている。 ・使途が事業目的に即し真に必要なものとなっているか確認している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・温泉発電設備以外の活動実績は、見込みに見合っている。 ・②～④の類似施策であるエネルギー使用合理化事業者支援事業(経済産業省)は、補助対象事業(施設)及び補助対象事業者が広範に渡るが、当事業(環境省)は温泉施設に特化している点で相違している。また、当事業は、温泉法改正時の附帯決議「温泉において発生する可燃性天然ガスの大部分を占めるメタンが温室効果ガスであることに鑑み、地球温暖化の防止及び資源の有効活用のため、温泉において発生する可燃性天然ガスの利用を促進すること。」に対応している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 事業名: エネルギー使用合理化事業者支援事業(経済産業省)	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度は温泉発電設備の補助実績がなかったことから、平成24年度は確実に実績を上げる必要がある。温泉発電は新しい技術であるため、温泉発電設備の設置工事が可能な民間事業者のリストを公表するなどして関心を持っている温泉事業者等への情報発信に努める(既に、平成24年3月に発出された「温泉資源の保護に関するガイドライン(地熱発電関係)」及び「国立・国定公園における地熱開発の取り扱いについて」に関する説明会において、本事業について周知を行ってきたところ。)。また、事業実施者からの実績報告等においても、温泉施設から排出されるCO2が確実に削減されているが、事業の更なる普及を図るため温泉利用事業者及び関係団体等に対してこれまでの導入実績に基づく事業の有効性等の更なる周知を進めていく予定。		
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
<p>【事業仕分け第3弾】 事業番号: A-12 WGの評価結果: 対象を全国の先進的なモデルとなる地域に厳しく限定 予算要求の圧縮(半減を目的に) とりまとめコメント: 全国の先進的なモデルになるような事業・地域を対象を厳しく限定したうえで、半減を目的に大幅に予算圧縮を図る。</p> <p>【対応】 平成23年度予算要求額を850百万円→450百万円に縮減。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	354	平成23年行政事業レビュー	308

※平成23年度実績を記入

環境省  
69百万円

温室効果ガスの排出削減のため、温泉施設において民間事業者が行う以下の事業に要する費用について補助金を交付するものである。

- ①温泉発電設備(固定価格買取制度に基づく売電をしないものに限る)の設置(補助率1/2)
- ②ヒートポンプによる温泉熱の熱利用事業(補助率1/3)
- ③温泉付随ガスの熱利用事業(補助率1/2)
- ④温泉付随ガスのコージェネレーション事業(補助率1/2)



【補助】

A. 民間事業者(7事業者)  
69百万円

- ・温泉付随ガスのコージェネレーション
- ・温泉付随ガスのコージェネレーション
- ・ヒートポンプによる温泉熱の熱利用
- ・ヒートポンプによる温泉熱の熱利用
- ・ヒートポンプによる温泉熱の熱利用
- ・ヒートポンプによる温泉熱の熱利用
- ・ヒートポンプによる温泉熱の熱利用

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費目と用途の双方 で実情が分かるように記載）	A.(株)星野リゾート			B		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	設備費	A株式会社 機械設備工事	10			
	設備費	A株式会社 配管設備工事	2			
	設備費	A株式会社 自動制御設備工事	2			
	工事費	A株式会社 電気設備工事	1			
	計		15	計		0

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)星野リゾート	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用	15	—	—
2	(株)武蔵野	温泉付随ガスのコージェネレーション	15	—	—
3	にかほ市観光開発(株)	温泉付随ガスのコージェネレーション	10	—	—
4	(株)第一ホテル	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用	10	—	—
5	(株)十和田ポニー温泉	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用	8	—	—
6	芦野温泉(株)	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用	8	—	—
7	(有)勝風館	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用	3	—	—
8					
9					
10					